

## ⑤ お船小屋の跡

～佐賀藩の海軍基地跡・オランダ製造の蒸気船が停泊！～

佐賀藩 10 代藩主鍋島直正は、長崎防衛のため天保 4 年(1833)本庄江東岸の今津に藩の水軍基地を開港した。直正や幕府勘定奉行の川路聖謨らが長崎に出向する時は今津のこの地から乗船した。安政 5 年(1858)、長崎で購入したオランダ製造の蒸気船電流丸に乗船して、水軍訓練などを巡視していた。また、万延元年(1860)には、オランダ軍艦に乗船して今津に入港している。明治 3 年(1870)に長崎で購入した藩の軍艦日進丸(1300トン)が完全武装して今津へ入港している。当時は船を利用していた藩主・藩士たちは、今なお、現存する御船稻荷神社に航海の安全を祈願していた。この周辺一帯は藩士の詰所、船具の倉庫などが立ち並び侍数名が駐在していた。民家の西側は、水軍基地の繋船地であったが、現在はむかしの面影をしのぶことはできない。